

第 356 回滋賀県内水面漁場管理委員会結果概要

◎第 354 回滋賀県内水面漁場管理委員会を開催しましたので、概要をお知らせします。

開催日時 : 令和 4 年 11 月 24 日 (水) 14:00 ~ 11:55

開催場所 : 一社) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 会議室

出席者 : 委員 9 名、水産課 6 名、水産試験場 1 名、事務局 5 名

(1) 協議事項

1. 滋賀県内水面漁場計画素案の意見聴取について

- ・ 令和 5 年の漁業権一斉切替えに向けた漁場計画の案の作成に当たり、滋賀県内水面漁場計画素案を公表して利害関係人の意見聴取を行うことについて協議しました。(資料 1-1~5)

- ・ 愛知川漁協が対象魚種にニジマスを追加することを希望しているため、水産庁の「水産分野における産業管理外来種の管理指針」の説明が水産課からありました。(資料 1-2)

委員からは、愛知川漁協ではニジマスの放流を行うのか、との質問があり、水産課からは、溪流魚の中で放流尾数の割合については今後、組合と意見交換して決めることになるため可能性はある、と回答がありました。

また、委員から丹生川漁協ではニジマスを放流していないのに沢山釣れるため、下流の高時川漁協で放流したニジマスが分布拡大しているのではないかと、との意見がありました。水産課からは、実態把握を行う、と回答がありました。

- ・ 葛川漁協の漁場拡張要望について協議を行いました。(資料 1-6)

委員からは、漁場計画案を作成するまでの今後一年以内に調整をとるため、まずは葛川漁協と朽木漁協の放流場所や、当該区域の管理努力をどの程度行っているのか等の実態を確認する必要がある、と意見がありました。協議の結果、12 月上旬に委員会による現地調査と両漁協での個別ヒアリングを行うことになりました。

(2) 報告事項

1. 全国内水面漁場管理委員会連合会令和5年度提案項目について

- ・ 全国内水面漁場管理委員会連合会が令和5年度に中央省庁へ提出する提案書の素案について、滋賀県からの追加提案項目と意見について協議を行いました。

(資料2)

委員からは、「IV河川湖沼環境の保全及び啓発について IV-1」への滋賀県の意見について、漁場環境悪化の原因となるのは皆伐等の効率を優先した森林管理だけではなく、スキー場や発電所などの開発行為も影響が大きいため追記するよう、意見がありました。

2. アユ資源の状況について

- ・ 水産試験場から、アユ資源調査の結果を基に資源の状況について説明がありました。(資料3)

(3) その他

- ・ 水産課から、滋賀県漁場計画樹立方針について前回の委員会で委員から外来魚についての記述がないと意見があった点について、資料のとおり修正を行ったと説明がありました。

- ・ 委員から、種苗の価格高騰についての情報提供がありました。